

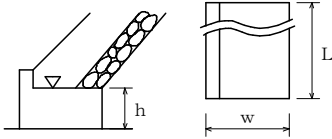
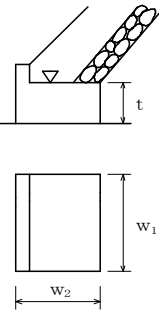
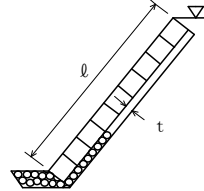
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎 工	5		場所打コンクリート工	基 準 高 ∇	● ± 30	
						幅 w	● -30	
						高 さ h	● -30	
						延 長 L	$\triangle -200$	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎 工	6		海岸コンクリートブ ロック工	基 準 高 ∇	● ± 50	
						ブロック厚 t	● -20	
						ブロック縦幅 w_1 ブロック横幅 w_2	$\triangle -20$	
						延 長 L	$\triangle -200$	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸 工	4		海岸コンクリートブ ロック工	基 準 高 ∇	● ± 50	
						法 長 l	$l < 5m$	$\triangle -100$
							$l \geq 5m$	\triangle $l \times (-2\%)$
						厚 さ t	● -50	
延 長 L	$\triangle -200$							

●：出来形管理図表を作成する。

\triangle ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p> 	<p>7-1-5-5</p>	
<p>ブロック個数 40個につき 1ヶ所の割で測定。基準高、延長は施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p> 	<p>7-1-5-6</p>	
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(護岸工編)(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。</p> 	<p>7-1-6-4</p>	

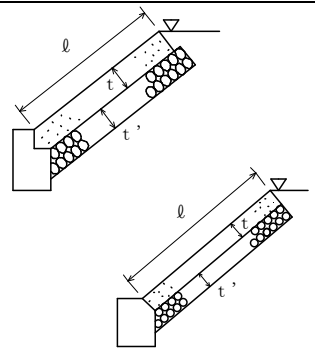
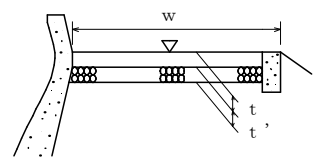
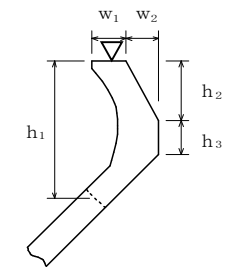
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸工	5		コンクリート被覆工	基準高 ▽	●±50	
						法長 ℓ	ℓ < 3m	△-50
							ℓ ≥ 3m	△-100
						厚さ t	t < 100	●-20
							t ≥ 100	●-30
						裏込材厚 t'	●-50	
						延長 L	△-200	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	8 天端被覆工	2		コンクリート被覆工	基準高 ▽	●±50	
						幅 w	△-50	
						厚さ t	●-10	
						基礎厚 t'	●-45	
						延長 L	△-200	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	9 波返工	3		波返工	基準高 ▽	●±50	
						幅 w ₁ , w ₂	●-30	
						高さ h < 3m h ₁ , h ₂ , h ₃	●△-50	
						高さ h ≥ 3m h ₁ , h ₂ , h ₃	●△-100	
						延長 L	△-200	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領 (護岸工編) (案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		7-1-6-5
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。		7-1-8-2
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。		7-1-9-3

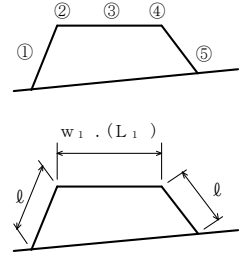
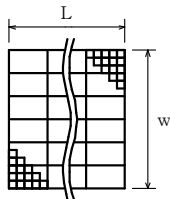
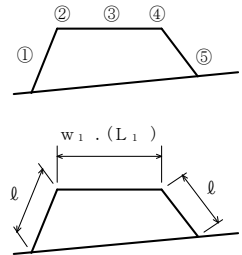
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	4 突堤基 礎工	4		捨石工	基 本 均 し	●△±50	
						表 面 均 し	±100	
						荒 均 し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
							異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
						被 覆 均 し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
							異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
						法 長 l	●-100	
						天 端 幅 w_1	●△-100	
天 端 延 長 L_1	△-200							
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	4 突堤基 礎工	5		吸出し防止工	幅 w	△-300	
						延 長 L	△-500	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	2		捨石工	基 準 異形ブロック据付面 高 (乱積) の高さ	●±500	
						▽ 異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	●±300	
						法 長 l	△-100	
						天 端 幅 w_1	△-100	
						天 端 延 長 L_1	△-200	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。</p> 	<p>7-2-4-4</p>	
<p>幅は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>	<p>7-2-4-5</p> 	
<p>施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。</p> 	<p>7-2-5-2</p>	

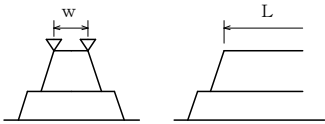
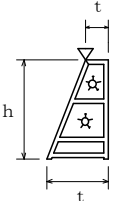
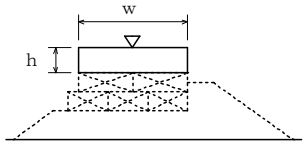
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	5		海岸コンクリートブ ロック工	基準高▽ (層積)ブロック 規格26t未満	●±300	
						(層積)ブロック 規格26t以上	●±500	
						(乱積)	±ブロックの 高さの1/2	
						天端幅 w	△ ーブロックの 高さの1/2	
						天端延長 L	△ ーブロックの 高さの1/2	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	9		石枠工	基準高▽	●±50	
						厚 さ t	△-50	
						高 さ h	h < 3m	●△-50
							h ≥ 3m	●△-100
						延 長 L	△-200	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	10		場所打コンクリート工	基準高▽	●±30	
						幅 w	●△-30	
						高 さ h	●△-30	
						延 長 L	△-200	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。延長は、センターラインで行う。		7-2-5-5
施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 1 施工箇所毎		7-2-5-9
施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-5-10

出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	11	1	ケーソン工 (ケーソン工製作)	バラ ストの 基準 高▽	砕石、砂	●±100
						コンクリート	●±50	
						壁 厚 t_1	●±10	
						幅 w	●+30、-10	
						高 さ h_1	●+30、-10	
						長 さ L	●+30、-10	
						底版厚さ t_2	●+30、-10	
						フーチング高さ h_2	●+30、-10	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	11	2	ケーソン工 (ケーソン工据付)	法線に対する出入 1、2	ケーソン重量 2000 t 未満 ●±100	
							ケーソン重量 2000 t 以上 ●±150	
						据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量 2000 t 未満 ●100 以下	
							ケーソン重量 2000 t 以上 ●200 以下	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	11	3	ケーソン工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基 準 高▽	陸 上	●±30
							水 中	●±50
						厚 さ t	△±30	
						幅 w	△±30	
						長 さ L	±30	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各室中央部 1ヶ所		7-2-5-11
底版完成時、各壁 1ヶ所		
各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端 完成時、四隅		
各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端 底版完成時、各室中央部 1ヶ所		
底版完成時、四隅		
据付完了後、両端 2ヶ所		
据付完了後、天端 2ヶ所		
1室につき 1ヶ所 (中心)		7-2-5-11

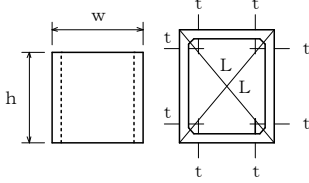
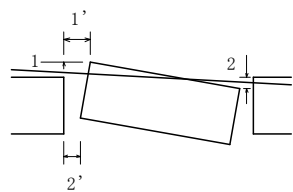
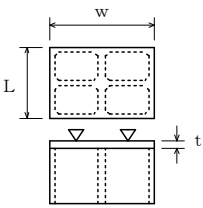
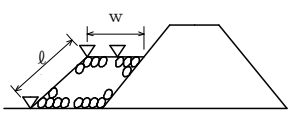
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	12	1	セルラー工 (セルラー工製作)	壁 厚 t	●±10	
						幅 w	●+20、-10	
						高 さ h	●+20、-10	
						長 さ L	●+20、-10	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	12	2	セルラー工 (セルラー工据付)	法線に対する 出入 1、2	△±50	
						隣接ブロックと の間隔 1'、2'	●50 以下	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	12	3	セルラー工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基準 高 ▽	陸 上	●±30
							水 中	●±50
						厚 さ t		△±30
						幅 w		△±30
						長 さ L		±30
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	6 根固め工	2	捨石工	基準 高 ▽	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	●±500	
						異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	●±300	
					法 長 ℓ		△-100	
					天 端 幅 w		△-100	
					天 端 延 長 L		△-200	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
型枠取外し後全数		7-2-5-12
据付後ブロック 1 個に 2 ヶ所 (各段毎)		7-2-5-12
1 室につき 1 ヶ所 (中心)		7-2-5-12
施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。 幅は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		7-2-6-2

出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	6 根固め 工	3		根固めブロック工	基準高 ▽	層 積	●±300
							乱 積	●±t/2
							厚 さ t	-20
						幅 w ₁ w ₂	層 積	-20
							乱 積	-t/2
						延長 L ₁ L ₂	層 積	△-200
乱 積	△-t/2							
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	7 消波工	3		消波ブロック工	基準高 ▽	層 積	●±300
							乱 積	●±t/2
							厚 さ t	-20
							幅 w ₁ , w ₂	-20
							延長 L ₁ , L ₂	△-200
7 河川 海岸 編	3 海域堤防 (人工リーフ、 離岸堤、 潜堤)	3 海域堤基礎 工	3		捨石工	基準	本 均 し	●△±50
						高 均 し	異形ブロック据付面 (乱積)の高さ	±500
							異形ブロック据付面 (乱積)以外の高さ	±300
						▽ 被 覆 均 し	異形ブロック据付面 (乱積)の高さ	±500
							異形ブロック据付面 (乱積)以外の高さ	±300
							法 長 ℓ	●-100
							天 端 幅 w ₁	●△-100
							天 端 延 長 L ₁	●-200

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 幅、厚さは 40 個につき 1ヶ所測定。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		7-2-6-3
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所。延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 幅、厚さは 40 個につき 1ヶ所測定。</p>		7-2-7-3
<p>施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5点以上測定。</p> <p>幅は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>		7-3-3-3